

園児・児童・生徒を 交通事故から守る対策は

答 立哨活動や交通安全啓発に
取り組んでいる

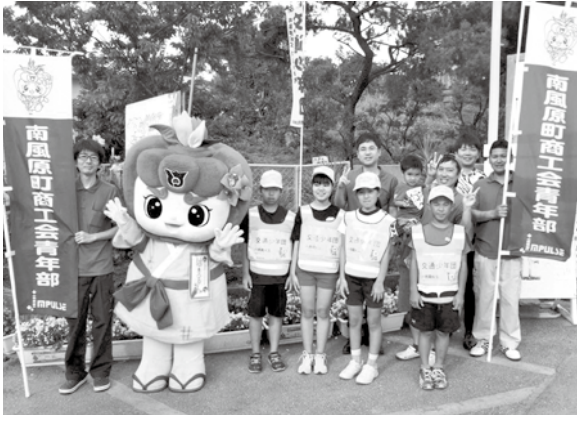


玉城 勇



問全国的に児童が事故に巻き込まれるニュースが多い。本町は、事故防止のためにどのような対策を取っているか。

副町長 信号機や横断歩道などの安全施設を設置している。交通安全広報や立哨活動等の交通安全啓発活動も行っている。



商工会青年部による朝のあいさつ運動

問PTA及び少年補導員、ボランティアの皆様が通学路や校門前で

横断のため交通安全活動を行っている。他にどのような場所で開催し何人が参加しているか。

副町長 老人クラブ等の団体及び個人のボランティアの方が活動している。町職員も交通安全月間や毎月1日に立哨活動を実施し、町内で合計約400人が活動している。

本町の財政安定化は

問本町の財政状況が大変厳しい状況にある。今後、財政安定化に向けてどのような対策を行い、何年後をめどに改善できるのか。

副町長 新たな歳入の確保や事務事業の見直し策による歳出の削減、組織体制の見直しについて調査検討を重ねる。将来の財政負担や不測の事態に対応できるだけの十分な基金を確保することで基盤の安定を図り中期財政計画において見通しを立てて行きたい。

問昨年末に、高齢者が競技場内の階段(フィールドから事務所側)を降りる際に転倒し、大けがをされたと聞いているが把握しているか。

教育長 大会主催者に確認したところ、施設の不備によるものではなく、報告の必要がないと判断し、報告はされていないかった。

問町の施設である。報告義務は課したほうがいいのではないか。

教育部長 団体使用の許可書に「事故等で怪我があった場合には連絡をしてください」といった内容を追記した。

問高齢者も含め、町民のための施設である。パラリンピック等の障がい者の大会もある。取り外し可能な手すり等もある。そういった形でも設置できないか。

教育部長 さまざまな角度から検証し、手すりの部分についても検討

陸上競技場内に 手すり設置を

答 検討していきたい

していきたい。



黄金森陸上競技場で開催されたシニアスポーツ大会

- こんな質問もしました
- 夏休み短縮について
- 給食センター運営及び給食について



赤嶺 奈津江



QRコードを読み取ることで各議員の質問の様子を見ることができます。